

86 会報

響き

発行所 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11
福祉財団ビル6F

TEL 03-69907-2637
FAX 03-69907-2915

発行人 山東 昭子 編集人 松本 末男
(題字 山東昭子会長)

会長あいさつ

公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会会長

山東 昭子



「響き」の会報も無事に第86号を迎えることが出来ました。これもいつもご支援してくださる皆様のおかげと感謝申し上げます。

最初に能登半島地震と能登半島を襲った記録的な豪雨により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、大切な方を亡くされた方々、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、今年度は、1回目の読字力検定試験に始まり、全国聾学校絵画展、全国聾学校作文コンクールなど無事に終えることが出来ました。全国聾学校絵画展・全国聾学校作文コンクールともにたくさんの方々の作品の応募があり、またどの作品も力作揃いでした。最優秀賞・優秀賞を取った絵画作品16点は、全国聾教育研究大会(今年度は東京都開催)にて展示会場から結果を発信いたしました。また、全国聾学校作文コンクールの作品は冊子を作成し、皆様にお届けしたいと思っ

います。

47回目を迎える「聴覚障害児を育てたお母さんや家族をたたえる会」は、名称を新たにいたしました。この会が発足しました当初より、お母さまばかりでなくご家族にもお声がけをして開催してまいりました。今回よりご家族の名前も会の名称に加え、多くのお母さまやご家族をたたえる会として開催いたします。会場はタワーホール船堀というすばらしい環境を備えたホールで開催いたします。多くのお母様方やご家族、関係者が一堂に集まる式典を開催したいと考えています。

令和4年度より始めました「乳幼児教育相談支援事業」は全国各地の学校よりご依頼を受け実施しております。また、今年度より東京都難聴児相談支援センターを受託し、全国ばかりでなく地域での乳幼児相談支援事業を展開しています。専門相談員の方々が今後の療育についての相談を行っています。現在50ケースほどの相談を行っています。

年末から年始にかけて、2回目・3回目の読字力検定試験が実施され、第47回「聴覚障害児を育てたお母さんや家族をたたえる会」と第36回「全国聾学校合奏コンクール」が開催されます。「全国聾学校合奏コンクール」には15校(23団体)から参加申し込みをいただいています。全国の聾学校で演奏してください。元気を姿を楽しみにしています。

これからも全国の聾学校の幼児、児童、生徒たちのために尽力していきたいと思っています。どうぞ変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

理事会・評議員会報告

理事会 令和六年六月十日

評議員会 令和六年六月十日

参議院議員会館 B102会議室にて実施

- 令和五年度事業報告及び東京都難聴児相談支援センター事業受託に関する件
理事会において承認され、評議員会にて承認決議された。
- 令和五年度収支決算及び監査報告に関する件
収支決算報告、監査報告・財務諸表が理事会、評議員会で承認決議された。
- 令和六年度事業計画に関する件
理事会、評議員会で承認決議された。
- 令和六年度収支予算に関する件
理事会、評議員会で承認決議された。
- 評議員候補者推薦(案)が理事会において選定され、評議員会において選任された。

令和六年度 事業計画

【受託事業】東京都難聴児相談支援センター事業を東京都より受託しました。会報85号に詳細を記載しましたが、東京都在住の難聴児支援事業として組み入れました。

【一般事業】

- 事業案内
全国聾学校に協会ホームページ上のリンクを通して事業案内(実施要項)を提示。このリンクからダウンロードして各学校・機関は事業案内を入手するという方式を継続して行います。
- 第47回「聴覚障害児を育てたお母さんや家族をたたえる会」

今年度の「聴覚障害児を育てたお母さんや家族をたたえる会」は、名称を改めた最初の会となります。

令和七年一月二十日(月)に江戸川区にある「タワーホール船堀」小ホールにて行います。
後 援…文部科学省、厚生労働省、東京都教育委員会、こども家庭庁、全国聾学校長会、全国ろう学校PTA連合会(予定)

③ 第二十八回全国聾学校絵画展

審査会…令和六年八月一日
展覧会…令和六年十月十七日(木)・十八日(金)
全日本聾教育研究大会(東京大会)で実施
表彰式…最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者在籍校に会長が赴いて実施

④ 第三十六回全国聾学校合奏コンクール

課題曲…自由
審査会…令和六年十一月十一日(二次)、令和七年一月六日(二次)
表彰式…金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長が赴いて実施予定

⑤ 第十九回全国聾学校作文コンクール

テーマ…自由
審査会…第一次 令和六年八月二十四日
第二次 令和六年九月七日
調査研究委員会…応募作品の分析研究調査
表彰式…最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者在籍校に会長が赴いて実施予定

共 催…全国聾学校長会
後 援…文部科学省、東京都教育委員会、全国ろう学校PTA連合会

⑥ 読字力検定試験 年間三回実施

聴覚障害教育関係資料収集事業

⑧ 会報『響き』の発行 年二回

募金活動(ハマナス募金) 目標額千四百万円

⑩ 法律相談(インターネット等)による法律相談

⑪ 専門図書、ビデオ、DVDの紹介・頒布
⑫ 協会ホームページの公開・更新
⑬ 聴覚障害乳幼児教育相談委員会 関連業務の継続

令和六年度 役員名簿(敬称略)

理事

(会 長) 山東昭子
(副会長) 森 伸夫、浅井健二
(専務理事) 松本末男
(常務理事) 木内弘司、齋藤佐和、藤本 登、辻村哲夫
(理 事) 阿部さみよ、今井絵理子、小川昭子、小林 明、田中美郷、仲田邦男、中村喜久子、平口 洋、水谷宣一、山田春雄

(監 事) 関根正浩、二宮征次郎

評議員

石川庄六、植草喜代治、太田昌孝、大沼直紀、大場利秋、堅田明義、加藤聖治、金子昌夫、木村利男、小島藤昭、小森谷晴代、柴田祐一、鈴木茂樹、竹内美和子、武田智彦、武田直丈、鄭 仁豪、戸田典尚、野崎正史、廣田栄子、堀米泰晴、松藤みどり、山 勝彦、四日市章
(事務局) 東 隆治

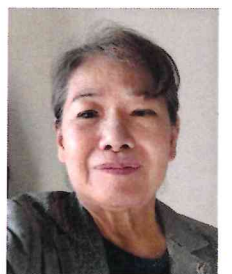
なお、長きにわたり当協会の評議員をお勤め頂いた篠崎利之氏、田中真由美氏は役職が変更になり退任され、根本匡文氏は、この度健康上の理由により退任されました。

新任の挨拶

評議員就任にあたり

筑波技術大学名誉教授 松藤みどり

大学卒業後東京教育大学附属聾学校に就職し、優秀



な生徒たちに恵まれ20年近くの間に5回クラス担任をし、卒業生を送り出しました。英語科教員としては英検を導入し、多くの生徒たちに合格証を持たせることが

できました。筑波技術短期大学に移ってからは全国の聾学校の英語の先生方や聴覚障害者本人の協力を得て、リスニングテストの字幕による受験、二次試験における聾学校教員などの面接官の配置などを勝ち取りました。

短大の教員としてはアメリカのNTIDやギャロレット大学との交流のために学生を引率し、本学にも招いて交流を深めることができました。4年制大学に昇格するにあたり、英語の他に外国語としてドイツ語、フランス語、アメリカ手話を選択して履修するカリキュラムを作りました。

定年退職後は私大の非常勤講師として、初めて聞こえる学生たちに英語を教えるという経験をしました。また卒業生の経営する放課後等デイサービスで自発官(児童発達支援管理責任者)として勤めたこともありま

す。今は大学時代に作った茶道サークルの卒業生を中心とした教室を自宅で開いて茶道を楽しんでおります。今回聴覚障害者教育福祉協会の評議員に就任するにあたり、先輩諸先生方の背中を見つめつつ、歩みを進めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

評議員就任にあたり

全国難聴児を持つ親の会 会長 小森谷晴代



この度評議員に就任しました、小森谷晴代と申します。よろしくお願ひいたします。

私は娘が感音性難聴と診断され、先の見通しももて

ず不安な中、埼玉県難聴児(者)を持つ親の会の活動に参加しました。難聴に携わる先生方の講演や先輩のお母さんの体験談を聴いたり、成長した難聴の子供たちと一緒に行事に参加したりして、多くのことを学びました。現在は、私が学んだことを発見間もない保護者や子育て中の方に伝えるために、親の会の活動を行っています。

貴協会の事業については、平成二十八年に「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」で被表彰者となり知りました。全国聾学校絵画展や全国聾学校作文コンクールなど聴覚に障害のある子供たちの活躍の場があることで、子供たちは将来に向けて新たな希望をもつことができました。また、お母さんの体験談や桜内義雄賞受賞者の発表を拝聴し、我が子の子育てを振り返り、今後の関わり方を再確認できました。

以降、毎年一月に開催される「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」に参加していますが、事務局の皆様の心遣いで温かな会となり、帰路は冬の寒さを忘れさせてくれます。そのような会の評議員に就任し光栄です。微力ではありますが、先輩方、事務局の皆様のご支援ご指導をいただき、公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会の発展に寄与するように頑張っております。

評議員就任にあたり

リオン株式会社 医療機器事業部長 太田 昌孝



この度評議員に就任いたしました太田昌孝と申します。私はこれまで聴力検査機器、聴覚スクリーニング機器、補聴器、補聴援助システム等の営業、企画、広

報・広告宣伝に二十余年携わり、本年よりリオン株式会社 医療機器事業部長を拝命いたしました。本協会の「可能性を伸ばし、未来をひらくために」聴覚障害

者の教育を支え、共に歩む」というビジョンに深く感謝し、微力ながら携わらせていただけることに感謝しております。弊社は、「クオリティオブライフ」・「バリアフリー」を経営理念に掲げ、聴覚に関する製品やサービスを通じて生活の質を向上させるとともに、聴覚障害をお持ちの多くの方々が社会で活躍できるように障壁のない社会の実現を目指してきました。これからも、時代や社会のニーズに対応し、皆様に寄り添いながら、これまで蓄積した技術や経験を強みに、豊かで快適な暮らしの実現に貢献してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

協会の事業

●第一回読字力検定試験

本年六月実施の読字力検定試験の結果は、左記の通りでした。第二回(十月)、第三回(二月)でも、頑張ってください。

- ・受検校数 五十四校
- ・受検者総数 七百六十六人
- ・合格者数 五百八十八人

●第十九回全国聾学校作文コンクール

全国聾学校作文コンクール第一次選考は八月二十四日(土)に第二次選考は九月七日(土)に行われました。応募作品総数は一三〇点でした。

全国聾学校作文コンクールの選考結果は左記の通りです。小学部より五十五点、中学部より四十一、高等部より三十四点の応募がありました。

金賞・文部科学大臣賞

石川県立ろう学校

中学部三年 二角 凜子

金賞・全国聾学校長会会長賞

愛知県立名古屋聾学校

高等部三年 鈴木 元太

金賞・聴覚障害者教育福祉協会会長賞

愛知県立千種聾学校

小学部四年 斎藤 絆花

銀賞

生川 照(千種)

後藤 紗希(葛飾)

酒井 美空(筑波)

穴田 暖乃(筑波)

猿渡 司(筑波)

大澤 美輝(葛飾)

銅賞

松本 玄(浜松)

西川 莉朱(大塚 城東)

安宮 凜(都立中央)

小杉 芽生(静岡)

池田 俊也(都立中央)

平野 琴音(大宮)

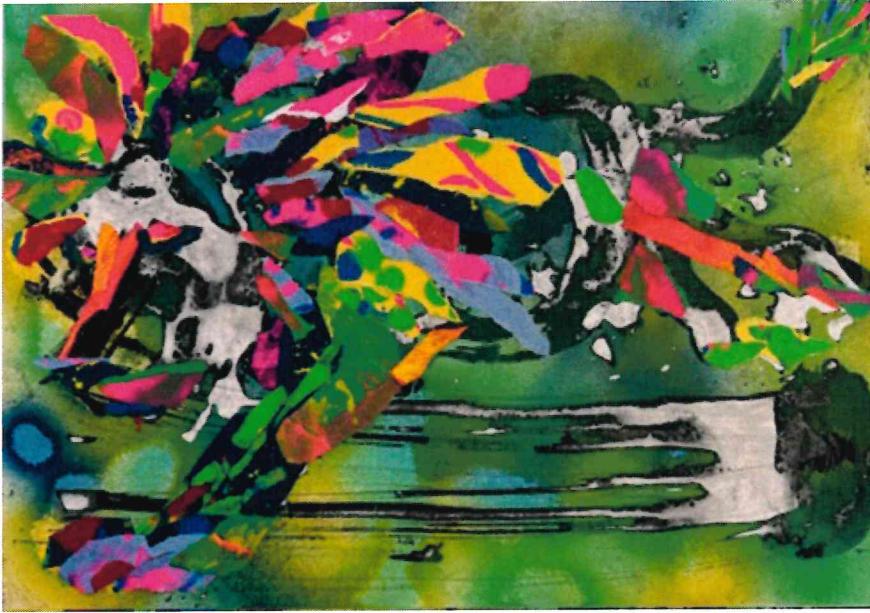
●第二十八回全国聾学校絵画展

今年度の審査会は八月一日(木)に行われました。応募学校数三十五校、応募作品総数五百一十一点でした。内訳は幼稚部五十九点・小学部三百二十点、中学部九十一、高等部・専攻科四十一点でした。今年度の最優秀賞、優秀作品者は、次の十六名です。おめでとうございます。

最優秀賞(一点)並びに優秀賞受賞作品(十四点)は、令和六年度第五十八回全日本聾教育研究大会(東京大会)において公開されました。

作品を応募した幼児・児童・生徒全員に参加賞(タリアファイル)、優秀賞受賞者(十六名)には絵の具メーカー(株)クサカベ様提供の「絵の具セット」を副賞として贈りました。

《全国聾学校絵画展審査総評は次号に掲載いたします。》



最優秀賞（中学部、高等部、専攻科部門）
 ・文部科学大臣賞
 ・静岡県立沼津聴覚特別支援学校 中学部一年
 小倉 侑大
 「ライオンがタッシュユ！」



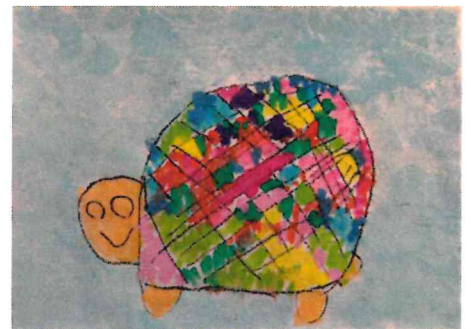
最優秀賞（幼稚部、小学部部門）
 ・東京都立大塚ろう学校 小学部三年
 鬼頭 伸弥
 「ペンギンの親子」



優秀賞
 ・福岡県立直方特別支援学校 幼稚部三年
 益田 菜桜
 「しゃぼんだまのなか」



・大分県立豊学校 幼稚部四歳
 佐々木陽葵
 「いるかをみたよ」



・兵庫県立神戸聴覚特別支援学校 幼稚部五歳
 瀬戸 悠雅
 「カラフルなかめ」



・東京都立大塚ろう学校 小学部三年
 徳久 航一
 「うさぎさんにのったよ」



・東京都立立川学園 小学部三年
 行徳 唯
 「しよつぽつしゃ」

兵庫県立神戸聴覚
特別支援学校

小学部三年

富岡 初帆

「お花ばたけの
世界」



茨城県立霞ヶ浦聾学校

小学部五年

浅野 珠吏

「虹色の
ヒーロー犬」



東京都立大塚ろう学校

小学部六年

須藤 愛依

「雨の日にさく花」



大阪府立生野聴覚
支援学校

小学部六年

白岩 勇光

「はじぎ絵」



山梨県立ろう学校

中学部一年

渡邊 心

「シャボン玉」



熊本県立熊本聾学校

中学部二年

村上 未来

「池にうつった鏡」

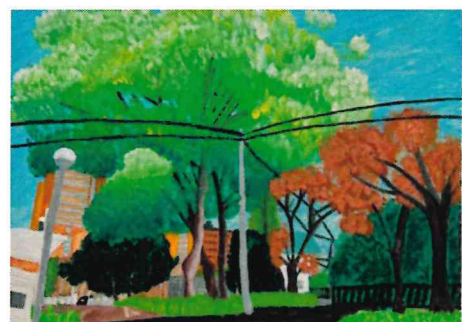


筑波大学附属聴覚
特別支援学校

高学部一年

太田 荘子

「小さな森」

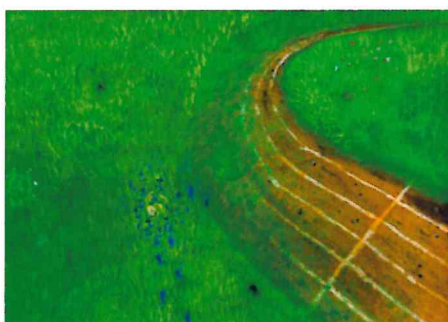


東京都立立川学園

高等部二年

大出 智也

「時間と過去」



静岡県立沼津聴覚特別支援学校 高等部二年

坂井 湊

「夕日に照らされた木」



文部科学大臣賞 表彰式の様子

山東昭子会長より表彰状を受け取る受賞者
小倉 侑大君（静岡県立沼津聴覚特別支援学校にて）



ハマナス募金

当協会が実施しております事業は、皆様方からのご寄附（ハマナス募金）により実施しています。皆様方のご理解とご支援に深く感謝いたしております。

今年度も計画事業の適正な実施に努めているところでございますが、昨今の社会情勢から事業資金の確保が大変厳しい状況にあります。つきましては、皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ハマナス募金のお振込みは、郵便振替もしくは銀行振込にてお願いいたします。

郵便振替口座 00110-9-134877
名 義 聴覚障害者教育福祉協会

銀行振込 みずほ銀行江戸川橋支店

普通口座 1615748

名 義 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
会長 山東 昭子

当協会は、平成二十九年三月三十日内閣府（内閣総理大臣）より税額控除に係る証明を受理しております。

令和六年四月一日から令和六年十月末日までの間に、次の皆様方よりご寄附をお寄せいただきました。誠に有難うございました。

（敬称略）

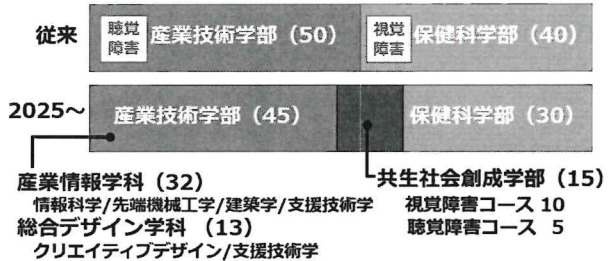
- ㈱日健総本社（森 伸夫）、仲田邦男、木内弘司、谷口昭子、一般社団法人日本伝統文化協会、関根正浩、群馬県聴覚障害者親の会、学校法人日本聾話学校、大沼直紀、長野県長野ろう学校PTA 内山和久、藤本 登、株式会社ATOMICS（山 勝彦）、山田春雄、辻村哲夫、小森谷晴代、北海道高等聾学校、近畿調査株式会社（代表取締役 武 健二）、杉山 実、阿部さみよ、㈱テアトルアカデミー（浅井健二）、東京ホールディングス㈱（浅井健二）、西郷ソーラー発電㈱（浅井健二）、暮石津多江、大坪 都、中村喜久子

お知らせ

筑波技術大学

文理融合 「共生社会創成学部」 四月開設

筑波技術大学には、これまで、聴覚障害学生が学ぶ産業技術学部と視覚障害学生が学ぶ保健科学部の二学部が設置されてきました。しかし、昨今の時代の変化に合わせ、来年四月から、新たに「共生社会創成学部」を立ち上げる運びとなりました。この学部では、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）時代の当事



者リーダーを育成することを目標に、「障害社会学」と情報アクセシビリティを中心とする「情報科学」の二つの学問について学びを深めます。その上で、「共生社会創成プロジェクト実習」をはじめとするたくさんの実習・演習科目や、週一回程度予定されている視覚障害学生との合同授業などを通じて、多様な人々との関わりを深め、共生社会の創成に必要な知識・技術を養っていきます。文系理系問わず、障害当事者の視点を生かして学ぶことのできる学部ですので、新たな進学先の一つとして、ぜひ心に留めていただければ幸いです。

（筑波技術大学 共生社会創成学部 共生社会創成学科長 白澤麻弓）

編集後記

会報「響き」八十六号をお届けします。

本年度前半の事業につきましては例年通り実施することができました。本年度後半の事業につきましては、十一月に全国聾学校合奏コンクール審査が十一月より行われます。今年度は参加団体も二十三団体と例年になく多くの参加がありました。一月に行われる「聴覚障害児を育てたお母さんや家族をたたえる会」も昨年同様「タワーホール船堀」にて一月二十日(月)に実施いたします。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。